

映画「武蔵－むさし－」脚本監督  
**三上康雄氏 講演会**



史実に基づいた本物の武蔵を映画「武蔵－むさし－」の脚本・監督の三上監督が語る。

**開催日：2019年6月2日(日)午後2時～午後3時**  
**場所：布施駅前(ヴェル・ノール布施5階)多目的ホール**  
**定員：当日先着150名 <無料>**

### 三上康雄監督プロフィール

1958年1月20日、大阪市東区(現:中央区)生まれ。  
近畿大学商経学部卒業。  
1974年から1982年にかけて「関西自主映画界の雄」と呼ばれ、16mm作品を含む自主映画を5本監督。その後、家業のミカミ工業に30年間専念。  
2013年、劇場用映画「蠢動－しゅんどう－」を監督。同年、全国85館ロードショー。ハワイやダラス等の国際映画祭出品。世界12カ国公開。日本映画監督協会新人賞ノミネート。  
2018年、劇場用映画第二作「武蔵－むさし－」を監督。2019年ロードショー。重厚な演出、リアルな殺陣、オールロケで、国内外で圧倒的支持の本格正統時代劇映画の旗手。

### 武蔵－むさし－

史実に基づくオリジナルストーリーで「本物の武蔵」と武蔵に関わる人物たちの生きざまと正義を描く。  
武蔵と、吉岡清十郎、吉岡伝七郎、吉岡一門との一乗寺下がり松、鎖鎌の穴戸、十字槍の道栄、そして、佐々木小次郎との巖流島の決闘の殺陣と真実。

**5/25(土)  
公開!!**

お問合せ：東大阪市立永和図書館  
TEL:06-6781-5500

協賛：布施ラインシネマ